



6年生の質問紙から大庭小学校の現在地を見る

先週は、個人面談、授業公開、学級・学年懇談、PTA 総会と盛りだくさんでした。ご参加ありがとうございました。さて、本校の現在地を見るため、6年生が4月に取り組んだ全国学力・学習状況調査の児童質問紙からいくつかご紹介をします。数値は肯定的評価(当てはまる+どちらかと言えば当てはまる)です。

「自分には良いところがあると思う」90%

うれしい数値です。私が大庭小学校に赴任した4年前は3年生以上学校評価で75%程度(全国平均値くらい)でした。4人に1人は自分に良いところがない、見つからないと考えていたわけです。同じ集団ではありませんが、大きく伸びています。



修学旅行に向けて鶴を折る6年生。タブレットPCで動画を見ているところが現代風です。

「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」93%

これもうれしい数値です。数年来ポジティブな行動を支援として、「○○しません」を「○○します・しよう」と肯定的に声かけをしたり、当たり前とされる行動を認めたりしてきたことの成果と考えたいです。大人への信頼感を示す数値です。

一方、次の質問は課題点・伸びしろ・目標を示しているように思えます。

「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」70%

30%の子は、しにくい・できない(あるいはない)と思っているわけです。プラスもマイナスも全部ひっくるめて自分です。マイナスと考えられる困りごとや悩みについて、援助をもとめる力も評価項目(後述)の一つとして大切にしています。学校も地域も家庭も困っている時にヘルプを出せる環境にしていきたいものです。「人が困っている時は、進んで助けている」肯定的評価91%です。子ども同士が助け合うことも引き続き大切にします。

以上は、本校で重点としている「自分も人も大切にする力」を測る指標となります。また主に学習に関わる「自分で考え表現する力」としては、次の項目に注目しました。

「将来の夢や目標を持っている」76%

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」65%

「授業で学習したことは、普段の生活で活用できている」算数82%・理科57%

いずれも、今の学びが、現在や将来の生活に結びついていることや、生活や夢に役立つことを実感できる授業の大切さを示しているように思います。小学校の授業は日常生活で役立つことが明確ですが、中学校になるとはっきりとしなくなります。今の学びが自分とどうつながるかを考える習慣をつけ、学びの推進力としたいものです。(以下、紙幅の都合でホームページ版にだけに書きます。緑字部分)

算数と理科について、普段の生活での活用を聞いています。小学校で学習する算数は具体的な数量があり、学習場面と生活場面が隣接しています。それが82%という数字になっているのでしょう。中学校の数学では、ぐっと下がるのではと思います。

それに比べて、理科が57%というのは、低いように思えます。みなさまは、「生活の中で理科の知識を活用していますか」と聞かれると大人でもどうかなあと思われませんか？以前、6年生の水溶液の性質の学習で「いろいろな透明な水があるけれど、どれが安全かわかりますか？」とたずねていました。確かに水溶液の性質を知らない危険という場合もあるでしょう。生活と結び付けた興味付けはとても大切です。

また、学習したことを、生活の中で演繹的に使ってみるということも大切にしたいものです。同じく6年生で「物の燃え方と空気の関係」を学習し、燃焼には空気の入れ替わりが必要ということを生かして、バーベキューをするといった具合です。

国語がこの質問項目にないのは、日常生活で使っているからということでしょう。逆に言うと国語では、日常会話を超えて、子どもが「今持っている力は国語の授業で身につけた」と言ってくれる授業を目指さなくてはなりません。

社会で役立つ力、自立のための力を育てることは学校の第一義の使命です。その力をつかって、自分の夢を実現したり、社会課題を解決したりします。総合的な学習の時間を中心にこうした機会も作っていききたいと思います。

右に令和7年度学校経営の重点を記します。破線部分が、重点目標の達成度を測る評価項目です。いずれも、子どもたちの具体的な姿とし、その姿が大方の子どもに見られるかで評価します。

- ①自分のよいところや課題がわかる。…自己理解の項目。長い人生、良いところも悪いところも含めて自分を好きな方がいいですね。
- ②行動する前に立ち止まって考える。…セルフコントロール＝自律は、本校児童には特に重要です。
- ③将来の夢や目標のために学ぶ。…学びを駆動する力。夢や目標がないと、毎日の学校はいつ来るかわからない本番に向けた練習となります。
- ④自分の考えをもち、表現する。…グローバル社会に必須です。松江市全体の課題でもあります。
- ⑤新しいことや難しいことに進んで取り組む。…がんばりぬく力と直結。知らないから、簡単にできないから楽しい！
- ⑥困っていると言える。困っている人を助ける。…援助を求める力。全部を自分ではできないから協力します。

数値と合わせ実感でも評価し、よりよい学校を創っていきたいと考えます。みなさまにおかれましても、例えば「自分で考えをもち、表現する」子を育てるためであれば、子どもたちに「どうしたい？」「どうする方がいいと思う？」「AとBならどっちがいいと思う？」と、そして「それはなぜ？」と問いかけ、子どもの意見を聞き、尊重していただけると幸いです。

<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm> ←学力調査についてはこちらから



R7湖東かなび学園 大庭小学校 学校経営の重点



【湖東かなび学園共通教育目標】地域に根ざし、確かな学びと豊かな心をはぐくみ、たくましく生きる子どもの育成

自ら考え、意欲的に学ぶ
～学力～

思いやりを持ち、地域や仲間の中で自己を伸ばす
～コミュニケーション力～

新しいことにも積極的に取り組み、
最後までやり抜く～生活習慣～

しまね教育魅力化ビジョン
松江市教育大綱
コミュニティスクール

【学校教育目標】「将来の自立のために」「持続可能な社会の形成者となるために」
確かな学力と豊かな心を持ちたくましく生きる子どもの育成

大庭の子の実態
よき：素直、思いやり、元気、人懐っこいのびしろ：自己調整、主体性、伝え合う力、社会性

●つきたい力と学校経営の取組重点

自分で考え表現する力①
～思考力・判断力・表現力等～

自分も人も大切にできる力②
～学力を支える基盤～

がんばりぬく力③
～学びに向かう力、人間性等～

主として授業の場で		主として特別活動・生活の場で
★校内研究の充実 「ルーブリックを生かした個別最適な学び」を国語科中心に展開。学習進度・方法・内容など自分で選択する機会を増やし、目標達成/課題解決（Output）に向けて考え実行する力をつける。※ICT活用 ★単元や授業を探究サイクルで ①学びを自分や社会の夢や未来と結び付け、ゴールを見通す ②自己決定し試行錯誤した成果を生かして協働的な課題解決 ③成長を振り返り、フィードバックで価値づける		★自尊感情の醸成、自己理解の促進 ①学級に居場所をつくり、役に立つことで自己有用感を育てる。 ⇒ふるさと教育、学級活動 ②自己理解の機会をつくり、自分のよさや課題に気づく。 ⇒キャリアパスポート、道徳科 【重点項目】善悪の判断、自律、自由と責任/親切、思いやり/規則の尊重 ★自律へ向けた継続的な取組 自己決定の経験によりセルフコントロールを学ぶ一時停止の機会をつくる。「①どうしたい？②あなたはど うしたい？③私にできることはある？」
		★ポジティブな行動へとポジティブに支援する できること・うまくいっていることを生かし児童の願いと行動を結び付ける。 Aきっかけ 望ましい行動が起る環境設定 → B望ましい行動 → C結果 できている子どもを認める 「出来ではなく伸びを認める」「中間層に注目する」「前さばきを丁寧に」 ★校内体制による生徒指導 ①スペシャルサポートチームの活用→自分でできる友達同士で支え合う、SOSを出せる ②最適な学びの場を特別支援教育で ③学年担任制による複数の目なざし ※学年経営案参照 教員集団や専門家が入る

自己選択・自己決定・自己評価をあらゆる場面で→自分の人生に責任をもって生きる態度を育成

身につけさせたい資質能力の具体と評価

自分の考えをもち、表現する。
将来の夢や目標のために学ぶ。

自分の良いところ（や課題）がわかる。
行動する前に立ち止まって考える。

新しいことや難しいことに進んで取り組む。
困っていると伝える、困っている人を助ける。

先生の幸せは子どもの幸せ

めざす学校像と教育目標を実現するための基盤

地域の学校は地域の未来

働き方改革・教室と職員室は相似形→

だれもが大切にされる大庭小学校

←地域の公立学校としての使命

教務・総務部

- ウェルビーイングの向上
- 教育 DX の推進

研究部

- 課題を選択、調整できる子どもの育成
- ルーブリック活用し、学習を自己評価できる子どもの育成

指導部

- 課題予防的生徒指導の推進（不登校、問題行動の未然防止）
- ・「ポジティブ行動支援」を中心とした支援を全校で行う。
- ・望ましい行動ができたとき、具体的に褒め、行動を価値づける。

特別支援教育

- 子どもたちの「わかった」、「できた」を育てる
- ・「ポジティブ行動支援」を中心とした支援を全校で行う